

ながせひでき 永瀬秀樹の歩く眼

川口まちづくり活動レポート



3号 2011.4.11

討議資料

新しい
私の芽

自分は何者か。
いったい何ができるのか。

■最近、私は多くの方からこう聞かれます。

「なぜ今、出るのですか？」（何で今頃？）
その方たちに、私はこうお答えしたいと思
います。「今が、その時だからです」と。

私は26年間、JTB（旧日本交通公社）とい
う旅行会社の社員として、そして部長職として、

- 旅行の営業やイベントの企画
- 国際会議や大会行事の運営
- 全国の観光まちづくりのお手伝い
- 会社の事業や考えを世の中に伝える広報
- 支店やグループ会社の経営

など、様々な業務を経験してまいりました。
この民間会社の企業人として幅広く培った
経験と感性を、政治を通して新しい川口の
まちづくりに活かすには、今が一番いい時
期だと思うのです。

■私も社員生活の大半を東京で過ごした、 いわゆる川口都民です。

仕事もつきあいも主に会社の人々が中心で、
家には寝に帰るだけでした。でもそんな私
でも郷土を愛しています。根っこを川口に
置いて全国中を飛び回っていました。

妻と一緒に沖縄に住んで観光政策に励ん
だ時代も、川口ならばどうしたら良いのか
と考えていました。全国各地のまちづくり
を手伝いながらも、これは川口で活かせる
んじゃないかと思っていました。

私の前半の人生は、企業人として、いつ
も『収益』という結果に責任を持ちながら、
川口のまちづくりを考えている26年でした。

■川口都民と地元の方との融和を考える。

これが私の仕事です。これまで自分の置
かれていた環境を活かして、今の川口の課
題である川口都民と地元の方々との新しい
コミュニティづくりを進める。その先頭に
立ちたいと考えています。



■今、日本は超高齢化社会に突入しました。

これは世界中のどこも経験した事のない
未知の社会です。人生50年といわれた織田
信長のころの戦国時代とは大きく変わり人
生100年の時代となりました。

私も20歳で大人になって31年が経過。人
生の真ん中の働き盛りです。東京と川口を知
っています。そしてお年寄りと若い人のまん
中です。これらのつなぎ役となって、世代
や情報を結ぶコミュニケーションを築きた
いと思います。





民間の人、 「永瀬秀樹 9の力」

チーム力・企画力・交渉力・決断力・競争力・責任力・客観力・総合力・未来力

JTBの部長であった、サラリーマン永瀬秀樹とは何か。
川口市政に新しい風を起こす、新しい市議会議員になってもらいたい。

1●チーム力

永瀬さんを人間形成したのは、企業である。

企業人は組織の人。スポーツに例えるとサッカー。個人プレーではない。『チーム丸』となって目標にあたる。これが仕事の流儀。そのチームは市民である。

2●企画力

永瀬さんの仕事は、観光の企画立案とその実施だった。

つねに優れた企画を考え、狙い、成果を出す。企画の冴えが成否を決める。永瀬さんは、旅行会社に勤務した26年の会社員人生で『企画力』を磨いた。

3●交渉力

観光の仕事は、社内の組織だけではできない。

まず地元の人がいる。訪れるお客様がいる。タイアップする地方自治体がある。

永瀬さんは26年間で、交渉し、意見をまとめ、立場が違ふ個々の力を最大限に引き出す『交渉力』を獲得した。

4●決断力

企画立案とは、従来の路線を変えることである。

今まで通りでは、今まで以上の成果は出ない。つねに新しい可能性を発見し、引き出し、周りを説得する。新機軸を決める『決断力』こそが永瀬さんの真骨頂である。

『安定より挑戦を!』

『会社のためより川口のため』の決断を下した。

5●競争力

観光地政策とはつねに競争である。

沖縄に行くか、 Guamに行くのか……。その前に、旅行に行くか、ブランドを買うかの選択もある。つねに競争し勝ちを獲る。この『競争力』を川口市政で発揮して欲しい。

ふつうの人の本当のために 永瀬秀樹

6●責任力

民間企業とはすべて結果責任である。

企業とはダメならば降格である。つねに査定され、評価され、処遇が決まる。その中で永瀬さんは、観光の地元に愛され、会社に任され、『責任』を取ってきた。この厳しさを市政に持ち込んでいただきたい。

7●客観力

遠くから近くから川口を見つめてきた人。

川口に生まれ川口に育つ。反面、川口を離れ全国中で仕事をしてきた永瀬さん。彼には『鳥の眼』がある。わが街と他の街を見抜く『プロの眼』がある。若き日、故郷を遠きにおいて想い、今、故郷に骨を埋める覚悟で立つ。

8●総合力

永瀬さんは温厚な人柄である。

結局、仕事とは全方位に対する信頼感で決まる。総合的なバランス力が要る。永瀬さんの人柄と今までの実績。これからは市民のために、限られた予算と時間の中で、最大限に『総合力』を発揮して欲しい。

9●未来力

管理職とは未来をつくる仕事だ。

仕事とは、10歩先を読み、5歩先を立案し、3歩先を予算化し、今を確実に歩くこと。実行力と洞察力が、『未来』に成果をもたらす。実行するとは『歩く』こと。洞察するとは『観る』こと。つまり『歩く眼』が未来をつくる。

元の上司として、永瀬くんに期待を。

永瀬くんが、市議立候補のために辞職をしたと行って来た時、正直に言ってびくつきした。将来を嘱望された仕事ぶり。これからもっと頑張ってもらいたい逸材であった。そして何で「今ごろ？」とも思った。しかし「川口市の未来のために今までの経験を生かしたい」という彼の瞳は真剣だった。本音を言えば「もったいない」と思う。だから「もったいなくない」というような、いい政治の仕事を期待したい。すべては自分の力だけだ。一からだ。

「川口を首都圏で一番素敵な街に」という辞令を出すような気持で、彼を見送りたい。JTB出身者は使えるという評価を風の便りに聞きたいと思う。頑張れ！永瀬くん。一個人として彼を応援したい。

(株)ジェイティービー代表取締役社長 田川博己

あなたのご意見をお聞かせください。活動スタッフ募集中!

永瀬秀樹後援会 〒332-0012 川口市本町1-6-10
Tel. 048-223-6050 Fax. 048-223-6170



がんばる